

山

アフガニスタン山の学校だより

06号



第2回総会& 現地報告会開催 運営委員、山の学校へ

【別紙】第2回総会資料

プレゼントに持参した縄跳びで遊ぶ子どもたち

もうすぐ2006年、皆様いかがお過ごしでしょうか。「山の学校の会」は今年も皆様のおかげで順調に活動を続けることができました。4月には代表の公式訪問、8月には運営委員3人による視察訪問が行なわれ、これからの支援の方向もより具体的に見えてきました。と、同時に学校の子どもたち、教師、地域の人々とのつながりもより深く確かなものになっています。

来年は、会の基盤をより強固なものとするために、国内での活動を積極的に進めていきます。具体的には、写真展、説明会、講演会などの地方開催です。地元で写真展などをやりたいという方、ぜひ事務局までお声を掛けてください。待っています。

アフガニスタンでは、この9月、昨年の大統領選挙に続いての制憲議会選挙が行なわれました。タリバーンの選挙妨害が多発したにもかかわらず、大勢の国民が投票に向かいました。人々の平和への思いがかなうことを願うばかりです。

10月中旬には、イスラム教のラマダン(断食月)が明け、イード(祭り)がありました。家族で親類や知人の家を訪ね、子どもたちはお小遣いをもらえる楽しい3日間です。会からは、子どもたちへのプレゼントとして、日本からパンダナとポーチを送ることができました。

マスードが倒れて、今年で4年。「子どもたちに教育を」というマスードの夢を共有し、アフガニスタンの夢を共有していききたい。というのが会を設立した動機でした。子どもたちの笑顔を見る時、マスードの笑顔と重なります。その笑顔がアフガニスタン中に広がることを願ってやみません。同時に、子どもたちの心の中に、会の存在がちょっぴりでも位置を占め、その活動が将来へ向かう励みになればいいなあと思ひながら、これからも活動を続けます。

長谷川海

サラーム!

皆様、お元気ですか?



ムルサルさんのカブール通信

カブール周辺の山々は、すっかり雪化粧し、冬の到来を感じる今日この頃です。1969年以来的の国会選挙も投票日から約2か月後に結果が発表され、やっとひと息と言ったところですが、今年中には、国民議会が開かれる予定ですが、下院議員のほぼ8割が元軍人。はて、どんな議会になるのか今から楽しみです。

11月には、アフガン初の5つ星ホテル「カブール・セレナ・ホテル」がオープン。レストランも2店あり、カブール在住の私にとっては、新たな「ほっと」できる空間の誕生に喜んでいる次第です。

今年も残りわずか、世界が平穏に過ごせますように。

カブールより 安井浩美

ポストカード第2集発売!

ご好評をいただいている「山の学校ふおとぎやうりい ポストカード」第1集(ばあーる第4号参照)に引き続き、第2集を作りました! 写真はすべて長倉洋海撮影、裏面には本会ロゴが入ります。第1集同様、今のところ報告会などで販売する以外は郵送での販売となります。ご不便をおかけし、申し訳ありません。人気の第1集も販売中です。なお、収益金はすべて会の活動費に充てられます。

3枚1セット 500円

※2セットよりご注文を承ります。

【購入方法】

ポストカード代金に送料を足した合計金額を、郵便局よりお振り込みください。

●代金(500円×セット数)+送料(表参照)=合計金額

●振込先

口座名義(加入者名)
アフガニスタン 山の学校支援の会
郵便振替口座番号 00160-1-667404

通信欄に、1)「ポストカード ○○セット希望」、2)郵便番号・ご住所・お名前・電話番号(連絡の取りやすい番号)を明記してください。お振り込みを確認し次第、できる限り早く郵送しますが、場合によってはお届けまでにある程度の日数を要することがありますので、その点はご了承ください。



セット数	送料
2~3	90円
4~6	140円
7~9	200円
10~15	240円
16~20	390円

ポーランドの小さな仲間たち

今回も夢いっぱい、元気いっぱいの子どもたちの笑顔をお届けします!



ファライバちゃん
(10歳) 4年
好きなもの・ビデオ
将来の夢・大臣



ファリダちゃん
(12歳) 4年
好きなもの・果物
将来の夢・先生



ザヒールくん
(10歳) 4年
好きなもの・テレビ
将来の夢 エンジニア

※年齢と学年は撮影当時(2005年3月)のものです



チェットル ハステイド?(お元気ですか?)
近代になってイスラムの国々は、西洋の教育システムを取り入れるようになりました。では、山の学校の子どもたちはどんな勉強をしているのでしょうか?

6学年ある山の学校では、3年生までは算数、図画、体育、コーラン、イスラム、ダリ語、書写などを学び、4年生からはそれに歴史、地理、パシュトゥン語、理科、幾何が加わります。授業は午前中で終わりますが、休日は安息日の金曜日だけで、登校日は週に6日。そして年度末には試験があり、この試験に合格できないと留年(!)してしまうのです。家の仕事が忙しすぎて…などという言い訳は許されず、現に時々進級できない子どももいるそうです。厳しい…。
学校で学ぶ以外の時間は、おとな並みに

今回のテーマ…学校

羊の放牧、水汲み、畑仕事など、朝早くから日が暮れるまで家の手伝いをする子どもたちですから、学校で友達と会うのがいっそう楽しくて、遠くても山道を転がるように走って通ってくるのでしょうか。

語そう! ダリ語

今回は、夏に現地視察したスタッフがいちばん使用頻度の高かったという会話からご紹介!

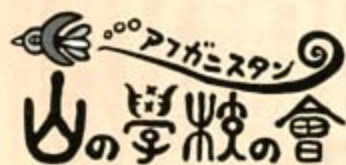
タシュナーブ クジャースト?
「トイレはどこですか?」

← **تشناب کجاست**

インジャースト アンジャースト
「ここです」 「あそこです」

← **اینجاست. آنجاست.**

ダリ語参考文献: 網岡尚子著 「旅の指さし会話帳 アフガニスタン」



アフガニスタン 山の学校支援の会
〒187-0032
東京都小平市小川町 1-1071-15 比留川 気付
FAX/留守番電話: 042-345-7805
URL: www.h-nagakura.net/yamanogakko
郵便振替口座: 00160-1-667404

編集 ● 岩動紫 佐々木瑞紀 林道子
題字 ● 近藤理恵
印刷 ● (有) アドタック

「長倉洋海 最近&今後の活動」
●長倉洋海を含む、4人の写真家による写真集「新シルクロード(NHK出版)」を発売しました。
●写真展「ラオス写真展」
2006年1/30~2/10
新宿メインスタワー(東京) ロビー
電話: JICA 03(53352)5058

「アフガニスタン山の学校支援の会」は、写真家・長倉洋海が取材活動を通して出会った、パシール渓谷ポラント村の子どものための教育支援を目的として設立された非営利の団体です。
2004年2月に設立、以後2014年3月までの約10年間にわたり活動を続けていきます。



第2回総会& 現地報告会 開催!

2005年9月10日
東京・武蔵野芸能劇場にて

去る9月10日、東京都武蔵野市の武蔵野芸能劇場にて、第2回総会・アフガニスタン現地報告会を開催しました。

今回は同時に2つの会場を使用することができたので、総会・現地報告会と並行して、山の学校フォトギャラリーや活動の様子を説明した資料、ビデオ視聴などの展示を行いました。

参加予約は申し込み締切日の段階ではそれほど多くなかったのですが、その後いくつかの新聞に掲載されたところ申し込みが急増し、当日までに60件以上の申し込みや問い合わせがあり、アフガニスタンや本会に対する関心の高さがかえりました。最終的には、スタッフを除いて139名の参加があり、会場は満席となりました。また、今回の総会を通じて10名の方が新たに会員になりました。

総会后、会場を展示会場に移して交流会を行いました。会員はじめ一般の方も多数参加され、「アフガニスタン体験コーナー」を楽しんでいる姿が目立ちました。

総会レポート

前日(当日朝)

真夜中を過ぎても続く、事務局への参加申し込みのFAX。参加者の急増にスタッフのやる気も倍増。資料の増刷、資材の買い足しに走る。

10:00 設営開始

スタッフ集合後、即設営開始。2フロアに分かれた会場間をスタッフが荷物を抱えて走り回る。

12:00 受付開始(3F)

準備が整いホッとしたのもつかの間、会員の方が次々と見え、喜びと緊張に包まれるスタッフ。親子連れの方や、昨年の参加者のお顔もあり、嬉しい。今年は販売コーナーを設け、書籍や山の学校ポストカードを販売。今回初登場のポストカード第2集も人気!

展示会場オープン(2F)

写真パネルや子どもたちの絵、ベールシヤ語絵本、識字教育の資料等を展示する。展示の目玉のひとつに、夏の視察時にスタッフが撮影した子どもたちの貴重な映像も。



12:35 第2回総会(3F)

会員約40名による総会開始。長倉代表の挨拶、比留川副代表の活動報告に続き、会計の森から決算報告。司会は昨年同様、本会若手の小島が務める。昨年度の教訓を生かした今年度の活動や、新プロジェクトの校庭用地取得・識字教育支援等についてご説明。最後に、前回の反省点を生かし長めの質疑応答タイムを設ける。(質疑の内容は次号掲載)



14:00 現地報告会(3F)

1つの学校の平安が、いずれ全土の平和につながることを長倉代表



は満席。熱心にメモを取る方の姿も。

16:00 交流会(2F)

少しでもアフガニスタンのことを知っていただきたい!と、様々な体験コーナーを設置。試食コーナーでは、子どもたちの好きなドライフルーツやコルット(ヤギ乳チーズの一種)、カルダモン入りのお茶などをご用意。



フルカを着て、はいチーズ!

民族衣装フルカが着られるコーナー「着てみようフルカ」や、ダリ語を実際に書いてもらう「書いてみよう!ダリ語」など、どれも皆様に楽しんでいただけた様子。アフガニスタン人留学生のラフイさんとヤコビさんも遊びに来てくれる。



多くの方にご参加いただき、交流会も大盛況。また来年お会いしましょう!

16:40 閉会

「現地報告会」大阪にて開催

東京での総会に続き、9月17日、アピオ大阪にて現地報告会を開催しました。今年は大阪在住の運営委員会を中心に、会員有志のご協力のもと準備を進め、夜6時からの開催にもかかわらず、会員を含め59名の参加がありました。

会場には、総会で使った山の学校の写真パネルや活動資料等を展示したほか、ビデオ視聴コーナーや、アフガニスタンのドライフルーツとコルットの試食コーナーも設けました。

長倉代表はスライドトークの中で「なぜ山の学校を支援するのか」と支援に至った経緯と活動の必要性をわかりやすく説明し、共感された参加者の中から、新たに10名がその場で会員申し込みをされました。また、その後の交流会でも、熱心で積極的な意見が多数出ました。関西地区の今後の活動に期待が高まります。

総会&現地報告会のビデオを準備中です

東京での第2回総会&現地報告会の様子を録画した、ビデオとDVDを現在準備中です(DVDは総会のみ)。2000円+送料で販売する予定です。ご希望の方は、事務局までお知らせください。



山の学校の子どもたち 大集合!



識字教室の女の子たちと一緒に



君は何の本、見てるの?



山の学校の先生と職員の方々

報告/比留川征子



森 桂子



森中真弓



運営委員、山の学校へ

7月30日から8日間、運営委員有志3名がアフガニスタン視察を行いました。(1)山の学校の環境や施設、教材教具などの使用状況調査、(2)図書利用の実態把握と活用促進、(3)「識字教育」教室見学と追加2教室の状況確認、(4)カプールで入手可能な物品の調査が主な目的です。以下、3名からの報告です。

カプールから、想像以上の悪路を一路ポランデへ。まずは車の修理代がかさむ理由を身をもって納得。学校に到着すると、子どもたちは恥ずかしそうにしながらも、好奇心いっばいに笑顔で迎えてくれました。

放課後、サフダル校長の知人所有の空き地にカーペットを敷いた会場に全校生徒が集まり、私たちがカプールから持ってきたジュースとビスケットでご挨拶。これから2日間、一緒に過ごしたい旨を話しました。

校庭取得の必要性は思った以上に切実で、全校生徒が集まれる場所もないし、ボールを蹴る場所もない。学校前の空き地(他人の所有地)も大きな岩がごろごろで、転ぶと間違いない血だらけになりそう。早急に土地を買い上げ、整備する必要性を実感しました(取得を目指す土地の所有者は20名にも上り、交渉は続行中です)。

会から提供した物はしっかり活用されている様子。各学年とも図画の時間がありますが、これは今年の春、長倉代表が画材一式を買い揃え、先

生方に、安井さんが支援する「難民のための学校」の図画の授業を見学してもらってから、新たに追加された授業です。体育でも、会から贈った縄跳びやバドミントンを使っているとのこと。

図書については、まず7か月前に日本から発送した本が、私たちの到着直前によくカプールに着いたので、それを学校に持っていきまし。職員室の一角にある図書コーナーに子どもたちを2学年ずつ集めて本を紹介した後、各自で本を選んで手に取ってもらいました。動物の本や仕掛け本には特に興味を示し、喜んで見ていました。

また、翌日には日本からタリ語訳(正確にはベルシヤ語訳)を付けて持参した絵本「さんびきのやぎ」を、日本語とタリ語で学年ごとに読み聞かせました(タリ語部分は校長先生が担当)。子どもたちは、時折笑い声も上げながら楽しんでくれました。そして、図書コーナーがもっと使いやすくなるようにレイアウト変更し、先生方も相談して本棚と椅子を購入しました。

識字教育は、この春開講予定だった2つのクラスが、教室や教師の質問もあって遅れ、まだ準備段階でしたが、候補地と既存クラスの授業を見学しました。成人女性のみならず、小学生や中学生くらいの子の受講生もいて、みんなとても熱心。2つのクラスの開講に期待が膨らみました。

新1年生用に日本から持参したりユックの数が足りず、学校訪問の前日にカプールの市場で購入しました(1つ4ドル)。カプールでは、一般的に物は豊富で日本よりはるかに安く、そこそこの物は揃います。皆様からお預かりした大切な支援金を最大限有効活用するためにも、今後は可能な限り現地調達して、送料も節約したいと思えます。

帰国から2か月後、安井さんを利用して学校の様子を校長に尋ねると、時間は決めて学年ごとに本を読む時間を設けているとの嬉しい返事。ポランデの青い空と子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、これからも現地の状況に則した支援を根気よく続けていきたいと決意を新たにしています。

※なお今回の視察は、すべて参加者個人の負担により行われたものです。

子どもたちと「サラーム！」

初めて山の学校へ絵本を送り出した日から、いつの日か子どもたちが本を手にする姿を見たいと夢見てきましたが、この夏、その夢を果たすことができました。

子どもたちに本の紹介をした後、「1人ひとり本を選んでみよう」と持ちかけると、すぐにお気に入りを見つける子、迷う子、友達の本をのぞき込む子…と様々でしたが、本に興味のなさそうな子は一人もいませんでした。

ふだん絵本に親しむ機会がないため、慣れるまでに時間がかかるのでは、という不安もありましたので、うれしい驚きでした。

「こんにちは」を意味する「サラーム」という言葉がありますが、「ごあいさつあそび」という絵本を開いて、「サラーム、サラーム」とページを繰っていくと、1年生から6年生まで、各学年の皆が「サラーム！」と唱和し、最高の笑顔を見せてくれました。

「みんな本が大好きなんだ!」「支援がここでも生きている!」と実感できた幸せな瞬間でした。

図書プロジェクト担当 森中真弓

事務局から

●校庭・識字支援寄付金は12/1現在、校庭25万0000円、識字35万1500円、「どろ」でも可「26万2000円集まりました。引き続きよろしくお願ひします。

●イードのフレゼントとして子どもたち全員に布ーチとバンドナをセットにして贈りました。いずれもキャラクターや花、星などの絵柄が付いた、子どもたちが喜んでくれそうなものばかりです。

●子ども用手袋・靴下のご提供を前回お願いしましたが、数が充分に揃いませんので今冬は送付を見送ります。来秋にはぜひ送りたいと思えますので、ご協力を願ひします。

●書き損じはがき・不要切手のご提供、大変助かっています。常時お受けしておりますので、よろしくお願ひします。

●「山の学校ミニ写真展」を皆様のご協力のもと、各地で開催できるよう準備中です。アフガニスタンや本会の活動を一人でも多くの方に知ってもらえればと思います。開催ご希望の方はご連絡ください。

●分割会費の未納が理由なく1年以上続いた場合は、会報の送付を止めさせていただきます。どうぞご了承ください。